



受賞ギャラリー

2024 2023 2022 2021 2020 2019 2018 2017 2016 2015 2014

2018 グッドデザイン賞

炭

やまが炭



分類タグ

スポーツ／ホビー

受賞企業

株式会社長沢燃料商事

事業主体名

株式会社長沢燃料商事

受賞番号

18G020079

受賞概要

2018年度グッドデザイン受賞概要

受賞対象の詳細

「やまが炭」は、山形県米沢市の良質な櫨(なら)材を100%使用した黒炭。火付きがよく煙や炎も上がらず、少量で高い火力が得られ、火も長持ちする。化石燃料の普及と共に需要が減った黒炭だが、地域に眠っている「もったいない森林」の活用と、炭焼き文化を次世代へ繋ぐため、若い人や女性など新たなユーザーに向けた商品を東北芸術工科大学の学生と一緒に開発した。「やまが炭」が広く使われることで、地域の森林保全と里山の維持、林業の後継者不足の改善、炭焼き文化の継承とともに、新たな雇用の創出が図られる。林業を軸とした循環型社会の創造を目指している。

※ 自動翻訳サービスDeepLを利用して生成されたテキストの場合があります

プロデューサー

株式会社長沢燃料商事 代表取締役社長 長澤文紀

ディレクター

株式会社長沢燃料商事 代表取締役社長 長澤文紀

デザイナー

東北芸術工科大学 グラフィックデザイン学科 田中研究室



東北芸術工科大学 グラフィックデザイン学科教授 田中康博

詳細情報

発売

2017/07/09

価格

1,600円

販売地域

国内・海外共通仕様

背景

黒炭の需要は化石燃料の普及に伴い減少し、それに伴って製炭者の高齢化、後継者不足の問題などから生産量も減少してきた。また、林業においても、後継者不足から管理が行き届かない「もったいない森林」が増えている。このままでは、地域の炭焼き文化が途絶え、森林荒廃も進む一方であることから、東北芸術工科大学の学生とともに、若い人や女性でも手軽に使える黒炭を開発した。

経緯とその成果

「やまが炭」は、厳しい冬に降り積もる雪が磨いた米沢の黒炭。

デザイナーの想い

米沢産の上質ななら材を原材料にした黒炭を、山形を代表する木炭として認知してもらいたいと「やまが炭」と名付けた。そして米沢の厳しい冬が、密度のあるきめ細かいなら材を育て、職人の手技が密度のある黒炭に磨き上げる。そんな「やまが炭」の持つ特徴を、降り積もる白い雪が黒炭に移り変わる様で、パッケージデザインに表現した。また敢えて木炭のパッケージを、白を基調とした小箱で展開した。そのことで雪の白さを強調し、米沢黒炭の密度ある「黒」との対比で他に無い独自性を出した。降り積もる雪の結晶が黒炭となって行くストーリーは、アウトドアの屋外においても部屋の屋内においても明るく優しい表情を与えてくれるように、柔らかなイメージのイラストで表現した。

仕様

寸法：W303×D230×H239mm、重量：約3kg、材質：山形県米沢産なら材

どこで購入できるか、どこで見られるか

株式会社長沢燃料商事、やまが炭公式ウェブサイト

※掲載している情報は、受賞当時の情報のため、現在は異なる場合があります。

審査委員の評価

担当の審査委員

鈴木 啓太 川上 典李子 根津 孝太 吉泉 聡 Patrakit Komolkiti

評価コメント

資源の調達、製品の製造、グラフィックのデザインまで、山形県内で全て完結している製品。多方面からの取り組みを評価した。商品としては過不足なく、必要なことが全てシンプルに再現されている。ローカル、ソーシャル、エデュケーションという最近のグッドデザイン賞で求められる要素を全て実現したお手本のような製品と高く評価した。



This Work by JDP is licensed under a [Creative Commons Attribution-NoDerivs 2.1 Japan License](https://creativecommons.org/licenses/by-nd/2.1/ja/). Permissions beyond the scope of this license may be available at www.g-mark.org. このページに掲載している情報は「クリエイティブ・コモンズ」＜表示・改変禁止＞日版ライセンス2.1で公開されています。このページの情報を二次利用する際には必ず[こちら](#)をご覧ください。

◀ 前のページへ戻る

同年度の他の受賞対象